

北穂高岳(3106m)山行報告

2020.10.5 後藤

日時 2020 9 28(月) ~10.2(金)

9.28(月)

バスタ新宿発上高地バスターミナル行きの夜行バス

満席。窓は閉まっていたが、エアコンが付いていたので、換気はされていた。

9.29(火)

上高地～涸沢小屋(泊)

涸沢の紅葉が少し進んでいただけで、猛暑のため枯れ葉まじり。

涸沢小屋はコロナ対策が進んでいない。

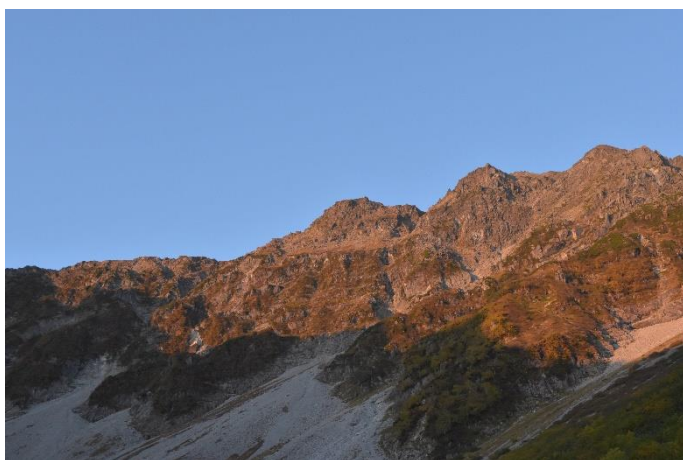
平日は前年の半分だそうだが、1 人一枚の布団で空きはほぼ無し。紙の枕カバーと仕切り、アルコール、手洗い用液体石鹸があるだけで、その他のウィルス対策は無し。

深夜 3 時頃、星空を見に行くと、満天の星空で、オリオン座が高い位置に見えた。

9.30(水)

涸沢～北穂高

早朝快晴で、奥穂高のモルゲンロートが見られた。



涸沢から上は梯子、三点確保で登る岩陵地帯となる。登り始めるとすぐに山頂が見える。稜線の崩れが進んでいるらしく、小さな岩集めて階段状にして、山道が整備されていた。

山頂の眺めは素晴らしく、



山頂直下に北穂高小屋があり、到着後、テラスで1人登頂乾杯のビールを飲む。山頂付近は完全に雲の中、後ろから太陽の光が差していて、時折、ブロッケン現象が見えた。

しばらくすると、雲が切れて、北アルプスの全容が見えて来た。大キレットが壮観な眺めで素晴らしく、遠くには水晶、更に奥に山が見えた。定かでは無いが、白山だろうか？

また、太陽に光を受けて雲海も見事に光っていた。

日の入前にはまた山頂は雲に覆われて、残念ながら夕陽は見られなかった。

夕食はモーツァルトの音楽を聴きながら、生

姜焼きメインの献立。

北穂高小屋は、コロナ対策もしてくれていて、アルコール、液体石鹸は勿論の事、寝具も不織布で全て覆われて、1人一つの仕切りのスペースを与えてくれた。



10.1(木)

早朝から雨でモルゲンロートは見られず。

6時に小屋を出発。小雪やぼた雪、小雨に降られながら下山し、後に晴天となった。

途中、涸沢をトラバースする地点でルートを外したようで、傾斜の急な眺め斜面を注

意深く渡り、再びルートに戻った。

涸沢から下、上高地は紅葉にはまだ早く、しかし、猛暑のため枯れ葉が見られた。

横尾にコースタイムを大幅に押して、到着。空きがあったので宿泊したかったが明神館に予約済みなので力を奮い立たせて歩き続けた。

平地で少しペースが上がり、5時半に明神館へ到着。

お風呂に入れてシャンプー剤が使える事がとてもありがたかった。コロナ対策はしっかりしていて、食事も値段の割にゴージャスで、コースによっては、明神館を今後、山行帰りに使おうと思う。

Go to キャンペーンで宿泊料割引、上高地で使えるクーポンも貰った。何とも良い夜？

10.2（金）

快晴だが明神のモルゲンロートは見られず。

明神から上高地を散策。何度来ても梓川とヤナギの景色、次々見える山が変わる景観が美しい。岳沢湿原で時間を潰して

16時10分のバスで上高地を立った。

上高地は何度来てもいいところ。また来たい。



北穂高小屋名物のしょうが焼き

<http://www.kitaho.co.jp/>